

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
令和5年度事業点検・評価調査

4-IV-2

4-IV-2

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備	取組項目	県民向け講座の開催																										
節	IV.ホスピタリティの醸成	事業主体	県文化課																										
事業(施策)名	2 新潟県佐渡金銀山出前講座	関連団体	佐渡を世界遺産にする新潟の会																										
事業実施期間	H28～R6																												
事業概要	<p>【事業目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 佐渡金銀山の価値を本土側の県民に周知することにより、県民の知識向上と郷土愛の醸成を図る。 <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 当該各種団体を対象に、佐渡金銀山に関する講座を県内各地で継続的に開催する。 <p>【本計画終了時点のゴール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 行動計画期間(H28～R6)において、出前講座を90件程度実施する。 (年目標10件×9年=90件) ○ 従来の出前講座のほか、イベント等と連携した佐渡金銀山講座の実施や、オンラインを活用した実施など、手法や対象を拡大して、より多くの方々に対して佐渡金銀山に対する理解を促進する。 																												
	これまでの取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ○ 公民館や県民会議会員等を中心に、下表のとおり県内団体に対し出前講座を実施。 ○ 各年度とも新規団体からの申込みがほとんどであり、県民の佐渡金銀山の理解促進に役立っている。 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施件数</td> <td>7</td> <td>12</td> <td>11</td> <td>7</td> <td>4</td> <td>12</td> <td>27</td> <td>10</td> <td>90</td> </tr> </tbody> </table>									年 度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	計	実施件数	7	12	11	7	4	12	27	10
年 度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	計																				
実施件数	7	12	11	7	4	12	27	10	90																				
事業計画と実績	<p>【R5年度計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 県文化課職員が講師となって、県内企業・団体の会議や公民館講座等、佐渡金銀山の講座を開催、県内大学に対しても実施を働きかけに加え、県外からの講座の依頼に対応する。 <p>【R5年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 県内団体や公民館、専門学校のほか、県外の団体等を対象に10件の出前講座を実施した。 																												
	課題・今後の取組	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 令和6年度は世界遺産登録の審議が行われるため、県内外からの関心が高まることが予想されることから、出前講座実施の要請に十分対応できるよう体制を整備するとともに、受講者の満足度の向上や理解を促進させる必要がある。 <p>【今後の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ オンラインの活用や関係団体との連携等により、要請に対応できるよう体制を整備する。 ■ 最新の情報を取り入れた講座の内容にするとともに、受講後に満足度を問うアンケートを実施することで受講者の反応を把握し、適宜講座内容の見直しを行って、受講者の満足度の向上と理解の促進を図る。 																											
事業評価	<p>【ゴールに対するR5までの達成度】◇ 県外での講座を含めて1年あたりの目標である10件の講座を行ったこと、 〔(A)・B・C〕 1年前倒して当初目標の出前講座数が90件となったことからA評価とした。</p>																												

A: 予定を上回る進捗
B: 概ね予定どおり
C: 遅れている。